

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	35316
事業名	アイヌ施策費					
評価担当課	所属名	市)市民生活部 アイヌ施策課				
	課長名	大屋 伸一	担当者名	島田 直子	電話番号	011-211-2277
施策名	主	地域で共生する環境づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	◎市民理解の促進、伝統文化の保存・継承・振興、生活関連施策の推進、生活関連施策の推進 ◎アイヌ文化の継承、アイヌ文化とのふれあいを通じた市民交流の促進			
		長期	◎アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現 ◎市民の生活文化の向上と社会福祉の増進			
	取組内容	◎アイヌ文化交流センターや共同利用館を円滑に利用できるよう、施設改修、施設維持管理及び事業運営を行う。◎多文化共生社会を目指し、アイヌ民族の文化・歴史に関するシンポジウムやアイヌミュージックコーサートなどを行う「インカルシペ・アイヌ民族文化祭」への補助を行う。◎札幌アイヌ協会が行うアイヌの活動支援に係る各種事業への補助を行うとともに、アイヌ民族から寄せられる各種相談等への対応を行う。◎アイヌ民族の子どもたちの進学率の向上に向け、学習支援を実施する。◎第2次アイヌ施策推進計画の実現に向け、札幌市のアイヌ施策のあり方を審議するアイヌ施策推進委員会を開催する。				
	実施結果	◎新型コロナの影響によりアイヌ文化交流センター来館者数が令和2年度26,930人から令和3年度13,243人に減少した。 ◎「インカルシペ・アイヌ民族文化祭」については、新型コロナウイルスの影響で中止となった。 ◎住宅貸付について、収納対策により滞納額が減少した。				
事業実施における工夫点	老朽化したアイヌ文化交流センターの屋内外展示物等について、計画的に更新・改修を進め、市民が気軽にアイヌ文化に触れる機会を創出する。					
対象者	市民	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律、札幌市アイヌ文化交流センター条例					
他都市の状況	2020年7月に白老町にて民族共生象徴空間がオープン					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	27,606	119,660	68,867	128,631	
うち特定財源	17,912	43,407	13,462	52,536	
人工	5.5	5.5	4.6	4.7	
人件費	39,600	39,600	33,120	33,840	
計(事業費+人件費)	67,206	159,260	101,987	162,471	
事業費の内訳	令和3年度決算	【R3年度決算68,867千円】アイヌ文化振興・保存・伝承活動補助金626千円 アイヌ住宅新築資金等滞納整理に係る経費2,197千円 施設等維持管理運営費及びその他経費66,044千円			
	令和4年度予算	【R4年度予算128,631千円】アイヌ文化振興・保存・伝承活動補助金等2,139千円 アイヌ住宅新築資金等滞納整理に係る経費1,608千円 施設等維持管理運営費及びその他経費124,884千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	アイヌ文化交流センター入館者数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	26930	58000	13243	60000	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	◎コロナ禍においても、13,243人が来館した。 ◎住宅貸付について、収納対策により滞納額が減少した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	◎センターの維持管理、運営については、経費抑制の努力を行いながらソフト事業の充実に努めており、事業の水準としては妥当と考える。また、共同利用館については、後継施設の確保までは最低限必要な維持管理の水準に抑えている状況にある。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	◎センター及び共同利用館の管理上専門的な部分は、必要な知識やノウハウ等を有する事業者へ委託しており、実施手法は適切と考える。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	新型コロナの影響によりセンターの来館者数が減少したものの、継続した事業運営を行っており来館者からの好評をいただいている。今後も来館者を増やすための検討やセンターの認知度向上、展示物の更新など計画的に実施し、来館者の満足度を向上していく。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	◎センターについては、オープンから18年が経過し各種設備の老朽化が進んでおり、将来を見据えた改修や入館者を増やすための展示物の入替等を行う。◎共同利用館については、築40年以上が経過し老朽化が著しいことから、後継施設について検証を進めながら、当面の施設機能の維持が必要である。◎センターの管理運営について将来指定管理者制度の導入を見据えた検討を進める必要がある。				
前回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新型コロナの影響により、センターの来館者が減少したものの、全体としてアイヌ施策推進計画に定める施策目標の推進に寄与できたと考える。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 ◎センター、共同利用館ともに、老朽化が進んだ設備の改修。 ◎センターの管理運営について、指定管理者制度の将来の導入を見据えた検討。			
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他		見直し効果額	0 千円
	センター、共同利用館ともに、利用者が安心かつ円滑に利用できるよう、老朽箇所の改修をするとともに展示説明の多言語化等の魅力向上を図る。				